

第7回国際芥川龍之介学会プログラム
International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies
「芥川龍之介文学の現代性と国際化」

2012年10月5日〔金〕—7日〔日〕

会場：西ワシントン大学(アメリカ、ワシントン州)
Western Washington University <http://www.wvu.edu/>
516 High Street
Bellingham, WA 98225

大会総合進行役 総合 Massimiliano Tomasi (Western Washington University)
(第1日) 高橋 龍夫 (専修大学)
(第2日) 五島 慶一 (熊本県立大学)

○ 10月5日 (金)

第1日

10:30 ~ 受付

(*10:00~ 理事会)

11:00 ~ ◇開会の辞 国際芥川龍之介学会会長 宮坂 覺
◇会場校挨拶 Chair, Department of Modern and Classical Languages
Dr. Paqui Paredes Méndez

11:30~

【基調講演】 司会 Massimiliano Tomasi (Western Washington University)

A Translator's View

Jay Rubin (ハーバード大学名誉教授)

12:30

(昼食)

*理事会

【研究発表 I】 司会 奥野 久美子 (大阪市立大学准教授)

13:30 ~ ◇ 研究発表 1 芥川龍之介「VITA SEXUALIS」の可能性

—隠喩(メタファー)から換喩(メトニミー)—

早澤 正人 (明治大学文学部助手)

討論者：細川 正義 (関西学院大学教授)

14:10 ~ ◇ 研究発表 2 「鼻」を《傍観》する——夏目漱石『文学論』を視座にして

小澤 純 (慶應義塾志木高等学校教諭・早稲田大学非常勤講師)

討論者：奥野 久美子 (大阪市立大学准教授)

14:50 ~ ◇ 研究発表 3 芥川龍之介「龍」論

小谷 瑛輔 (東京大学大学院博士課程)

討論者：宮坂 覺 (フェリス女学院大学客員教授)

休憩(20分)

【研究発表 II-1】 司会 足立 直子 (広島女学院大学専任講師)

15:50 ~ ◇ 研究発表 4 細川ガラシャの死と「糸女覚え書き」

曹 紗玉 (仁川大学教授)

討論者：足立 直子 (広島女学院大学専任講師)

16:30 ~ ◇ 総会 (本部・支部報告、事業計画、役員改選、その他)

17:30 ~ ◇ 懇親会

○ 10月6日(土) 第2日

9:30 ~ 受付

【研究発表Ⅱ-2】 司会 足立 直子 (広島女学院大学専任講師)

10:00 ~ ◇ 研究発表5 芥川龍之介におけるヨハネ

林 薫植 (Lim, Hoon Sik) (慶南大学校教授)

討論者: 関口 安義 (都留文科大学名誉教授)

10:40 ~ ◇ 研究発表6 「歯車」を読む

千葉 俊二 (早稲田大学教授)

討論者: 馮 海鷹 (清華大学外語系副教授)

【研究発表Ⅲ】 司会 五島 慶一 (熊本県立大学 准教授)

11:20 ~ ◇ 研究発表7 レッティング「ラオコーン」受容について—芥川龍之介と谷崎潤一郎を中心に—

西野 厚志 (早稲田大学教育学部助手)

討論者: 五島 慶一 (熊本県立大学 准教授)

12:00 ~

(昼 食)

*理事会

13:30 ~ ◇ 研究発表8

大正後期から昭和初年代における芥川龍之介と谷崎潤一郎——永井荷風を媒介として

岸川 俊太郎 (早稲田大学大学院博士課程)

討論者: 篠崎 美生子 (恵泉女学園大学准教授)

14:10 ~ ◇ 研究発表9 火野葦平と芥川龍之介—「女賊の怨霊」を中心として—

増田 周子 (関西大学文学部教授)

討論者: 千葉 俊二 (早稲田大学教授)

休憩(10分)

【研究発表Ⅳ】 司会 澤西 祐典 (京都大学大学院博士課程)

15:00 ~ ◇ 研究発表10 芥川作品における変化

VIHAR Judit (Eötvös Loránd Tudományegyetem)

討論者: 黒沢 歩 (ラトビア文学翻訳者)

15:40 ~ ◇ 研究発表11 Akutagawa and the Writing Cure / 芥川と談話療法

Steve Ridgely (University of Wisconsin-Madison)

討論者: 高橋 龍夫 (専修大学教授)

16:20 ~ 総括 ワークショップ (自由討論)

司会: 細川 正義 (関西学院大学教授)

「芥川龍之介文学の現代性と国際化」

問題提案者: 関口 安義

宮坂 覺

17:00 ~ ◇ 閉会の辞 国際芥川龍之介学会

韓 国 支部長

高橋 龍夫 (理事)

曹 紗玉

○ 10月7日(日) 第3日

フィールドワーク——<シアトル歴史文学散歩>および米国日本文学研究者との交流

9:00 ホテル出発(ミニバスチャーター)

11:00頃～ ボーイング社見学ツアー、スターバックス1号店の見学、Seattle Center & China Town、
Underground Tour、Smith Tower(多少の修正があります)

18:00頃 ホテルチェックイン

10月8日 9:00 シアトル空港へ ホテルからシャトルバス利用(予定)

- 大会事務局: 西ワシントン大学(アメリカ、ワシントン州) <http://www.wwu.edu/>
Western Washington University 516 High Street
Bellingham, WA 98225
Massimiliano Tomasi (Massimiliano.Tomasi@wwu.edu)
- 本部大会事務局: 高橋龍夫実行委員長 (t-tatsuo@senshu-u.jp)
*安藤公美学会事務局長 (akutagawagakukai@yahoo.co.jp)
(フェリス女学院大学 奈良研究室)

*International Society for Akutagawa
[Ryunosuke] Studies*